学校だより Futaku

宮城教育大学附属特別支援学校　　令和７年９月１９日(金) No. ５

教育目標	１ 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。 ２ 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL　022-214-3353　　FAX　022-214-3362
E-mail　:　tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp　URL　:　https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp

実りの秋に向かって

残暑厳しい中、再び子供たちの元気な声が校舎に響き、学校に活気が戻ったのは、８月の下旬。長い休み明けとは思えないほど、子供たちは学校の生活リズムを取り戻し、その姿からは、柔軟さや楽しみを見出す力を感じました。子供たちの可能性の広がりに気付くとともに、それぞれの歩幅で成長していく子供たちを見守り、支えていきたいと改めて思いました。

これから季節の移ろいとともに、令和７年度の学校生活は充実期を迎えます。一人一人実りのある日々を送ることができるよう、保護者の皆様と連携を深めながら、教育活動に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【後期教育実習（8/25～9/5）】

教員を目指す学生たちが、子供たちと過ごす一瞬一瞬を大切にしながら、誠実に教育実習に取り組む姿はとても印象的でした。また、子供たちが学生に向けるまなざしや表情から、新たな気付きを得ている様子がうかがえました。

年間２回の教育実習を終えて、「未来の教育を担う力」が育まれていることを実感します。学生たちにとってかけがえのない学びとなったことと思います。そして、子供たちが見せた、変化や心の広がりからは、子供たち自身も学び、成長したことが感じられました。

【PTA 事業「ふとくまつり」（9/6）】

高等部、中学部の生徒が製品販売や喫茶の担当として、それぞれの持ち場で力を発揮し、生き生きと活躍する姿はとても頼もしく、日頃の学びの成果が感じられました。小学部の児童は買い物学習を兼ねて参加し、人とのやり取りを楽しみながら、笑顔で会場を和ませ、ふとくまつりに花を添えていました。

子供たちお楽しみの、PTA コーナーと事業所販売ブースでは、購入したいものをよく見て選んだり、夢中になって遊んだりする子供たちの姿がありました。

本校の子供たちの魅力があふれる、すてきなひとときとなったふとくまつり。保護者の皆様のご尽力のおかげで、盛会に開催できましたこと、心よりお礼申し上げます。

《裏面もご覧ください》

― 古着提供のご協力 ―

　このたび、就労支援施設ハローズ名取様より、「古着の回収」へのご協力について依頼がありました。

　回収した古着は、ハローズ名取の施設利用者の方々が選別作業を行った後、繊維リサイクル会社を通じてカンボジアの工場へ送られ、アジア各地で販売されます。

　ご協力いただける方は、管理棟、及び玄関内に設置してあります「古着回収 BOX」へお入れください。

【古着回収の目的】

○ 施設利用者の方へ、古着の運搬・選別等の仕事の提供。

○ 燃えるごみの排出量削減（地球環境へ配慮した取組み）等。

【回収する品目】

○ 衣類全般、くつ、かばん、中古タオル

※ 使用できるものに限ります。

※ 靴下、下着は不可です。

管理棟玄関

小学部棟玄関

（文責：鈴木　真亀子）